

発行

黒潮園だより

 社会福祉法人 黒潮園

〒647-0061

和歌山県新宮市三輪崎2471-1

Tel 0735-22-5689 Fax 0735-21-3220

ホームページ <http://www.kuroshioen.jp>

芋の苗植え

地域の奥地様のご厚意により、今年もさつま芋畑をご提供頂きました。昨年は『芋掘り』という事で、秋に入所者様と収穫にうかがいました。そこで今年は、入所者さまと一緒に苗植えから経験させて頂くことになりました。休みの職員さんの子供たちも参加し、和やかな雰囲気の中、入所者様は熱心に苗植えに取り組まれていました。自分たちで植えたさつま芋の成長と、秋の収穫が楽しみです。



新たなケア体制について



社会福祉法人 黒潮園
理事長 岡 司

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。今年は連日の猛暑続きで、大変厳しい暑さの夏となっております。そのような折、今年度も7月24日に行事「大納涼大会」を、「家族をはじめ地域の皆さんご支援により盛況に終えることができました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。」さて、私たちは現在「個別ケアと自立支援のケアの実践」を目標とし、利用者様お一人お一人のご要望にお応えし可能な限り自立した生活をお過ごし頂けるよう取り組んでいます。近年、特別養護老人ホームでは様々なご病気をかかえて入所される方が増加している傾向にあります。このように入所者さまに必要とされるケアの内容は幅広く多岐にわたり、より複雑なものとなつて来ています。

この個々のニーズや病状に対応するケアを実践するためには、一人の職員が入所者様100名の方を支援する、これまでの画一的な施設ケアでは十分には行き届かない状況にあります。又、生活の場を提供させて頂くといふこれまでの考え方だけでは十分とは言えず、健康管理の面においても介護職員の知識と技術の研鑽、専門性の向上は不可欠であります。

そこで、黒潮園では職員の勤務体制と業務内容を全面的に見直し、各階のそれぞれの入所者様を1つの単位として、そのフロアに固定配属された職員が個別ケアに対する新たな体制を導入しました。(詳細はハートケア通信にご紹介しています。)

また、今年度はさらに職員の出張研修支援制度の充実を図り、現場経験に応じた様々な施設外研修への参加を奨励し、介護の知識・技術の習得、資質向上に取り組んでいます。

私たちの目指す「個別ケアと自立支援のケアの実践」において、ご家族との連携が何よりも重要です。ご本人様とご家族のご要望を、この個別対応のケアに生かせていくことが大切であると考えています。今後ともどうぞご遠慮なくご意見・ご要望をお聞かせくださいますよう、宜しくお願い申上げます。



今年も恒例の納涼大会の季節がやって参りました。昨年は雨で延び延びとなりましたが本年はお天気に恵まれ、晴天の下、開催致しました。理事長の挨拶の後、まずイチゴクラブの子供達によるバレエでイベントがスタート。カラフルな衣装を身にまとい、白雪姫とシンデレラ姫を踊る子供達に入所者の皆様も目を細められていました。



続いて滝美会の皆様による盆踊りが始まりました。徐々に日も暮れ始め、暖かい提灯の灯りの下での踊りがお祭り気分を盛り上げてくれます。ふと上を見上げると夜空には見事な満月が・・・。そして入所者の皆様も浴衣や半被姿で続々と踊りの輪に加わり、楽しい一時を過ごされました。

納涼大会 平成22年7月24日



入所者の皆様も次々に踊りの輪に加わりました。



取りを務めるのは熊野鬼城太鼓の皆様です。ここ数年来ご来演頂いておりますが何度も聴いていて迫力があります。お腹の底まで響きわたるような太鼓でイベントを締めくくって下さいました。

前頁でボランティアをご紹介いたしましたが、この納涼大会もいちごクラブ、滝美会、鬼城太鼓の皆様方演者その他、屋台や交通整理、運転手等裏方さんまで、数多くのボランティアの方々に支えられています。ご協力頂きました皆様ありがとうございました。来年もまた宜しくお願ひ致します。



ボランティア活動

黒潮園は多くの方々の愛情によって支えられています。その一部をご紹介致します。



花の日 マリア保育園の子供たち



花の日は150年ほど前、ある教会でキリスト教の『子どもの日』にお花を飾ってお祈りしたのが始まりで、それ以来、花の日は子どもを祝福しあわせにする日となったそうです。そこで持ち寄ったお花を、お世話になっている方に感謝の気持ちを伝えるために渡すそうです。今年もマリア保育園の園児さんが、この黒潮園にお花を届けに来られました。そこで元気いっぱいの



子供たちによる楽しい歌や踊りを披露して頂きました。入所者様も子供たちの愛らしさと、子育てや自身の子供時代を思いお越し涙を流される方や、一緒に手を握り踊りに参加される方など、小さな子供たちとのふれ合いの時間を思い思いに過ごされていました。私たちもその様子を見聞きし、心和むような優しい気持ちになりました。このような気持ちを大切にした入所者様の支援が出来るよう心がけたいと思います。



押し花教室

ふしぎな花俱楽部、奥浩子先生の指導による押し花教室を定期的に開催しています。最近では参加される入所者様も手馴れた手つきで押し花を並べられ、写真のようなお洒落な葉書入れが完成しました。



(番外編) 奥先生はメイキャップの専門家でもあります。上の写真は納涼大会当日のひとコマ。イベントの際にはメイキャップアーチストに変身します。



創作ダンス

創作ダンスクラブ疾風(ハヤテ)さんにソーラン踊りやオリジナルダンスを披露して頂きました。黒潮園入所者様と悠久のディサービス利用者様がそろって観覧され、盛んに拍手を送っていました。





土と触れ合う一時…



黒潮菜園



荒れた土地を開墾し、畑を作りました



「畑を作って菜園を楽しんで頂こう！」という職員の提案により、『黒潮菜園計画』が4月下旬に発足。まず場所探しから開始。裏庭藤棚の脇にブナの木が生えていますが、ちょうど3階より屋外に出るスロープに近くいい場所が…。そこでまず木を伐採し、根を起こして土をならすために重機をレンタルし開墾開始。介護の仕事に就く前に土木のお仕事をしていた谷介護職員が大活躍。小林総括主任と理事長と共に汗を流しながらの土木作業？バリアフリーで車椅子の方でも土に触れることが出来るように、畑の周囲へのコンクリート舗装を企画しましたが…作業時間が追い付かず三山造園さんに仕上げをお願いしついで完成！

その様子を窓越しに眺めていた入所者様も楽しみにされており「何を植えようかな？」との話題も。園芸療法にあるように、土や緑に触れるによる脳科学的に証明されている心理的な効果、農作業により身体を動かすリハビリ効果の他、中庭の藤棚とともに、新しい入所者様の憩いの場となっています。



車椅子でアクセス出来たよう、周りをコンクリートで舗装しました



甘い苺も実りました。
この時期に苺??。実はこの品種は夏秋どり苺です。



1階中庭にも花と野菜を植えています。こちらは建物のすぐ脇にあり、廊下からもよく見えます。入所者の皆様は成長を楽しみにされています。



2階スロープ先の裏庭には花壇を作りました。色とりどりの花々が咲き乱れる癒しのスペースとなっています。



楽しい日々

七夕祭り

勝浦港にある足湯へ出かけました

まだ入れないの？



あつたまるね～



織姫様、ひこ星様と記念撮影！



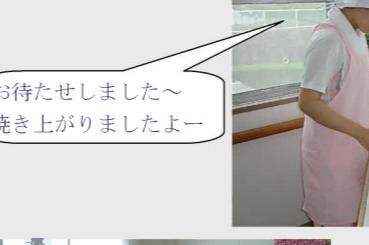
私ってセンスいいでしょ

天気がよいで
野外でお食事

どれから食べようかしら？

のんびりしてたら
さめてくで～

いただきま～す

お待たせしました～
焼き上りましたよ～プロの味
たこ焼き屋開店！！

水羊羹作り

羊羹出来ましたよ～
慌てず一つ一つ気持ちをこめて田代公園へ
お花見ドライブに行きました散る前にこれで
よかったです～

回転寿司へ行きました

食べても食べても
廻ってくる～

念願のお寿司～♪



黒潮園玄関を入ってすぐ左手に設置しています。

AEDを設置しました

AEDとは、Automated External Defibrillator（自動体外式除細動器）の略で、傷病者の心臓に電気ショックを与え心臓のリズムを元に戻す装置です。既に欧米などでは学校・駅・空港・スーパー・マーケットなど人が大勢集まる公共の場所で多く設置されており、いざ心停止の傷病者が発生



しても迅速に対処ができる環境が整備されています。わが国においても2004年7月より一般市民がAEDを使用して一次救命処置を行うことができるようになり、普及が進んでいます。この度、黒潮園でも地域の拠点施設として設置することに致しました。緊急時にご活用下さい。



平成22年7月6日、参議院議員選挙の期日前投票を行いました。日本の針路を決める大切な1票です。皆さん真剣に投票されていました。



参議院議員選挙



平成二十二年度永年勤続者表彰

勤続十年表彰者

雜賀祐成
田ノ上貴次
小林忠幸
越水淳

黒潮園に勤務させて頂き十五年になりました。今振り返ると当時は不慣れな事が多々先輩達に色々教えて頂いた事、入所者の皆様に満足な事も出来ず、迷惑をかけたなあなどが思い出されます。入所者の皆様が家庭の延長とし、楽しく安心して過ごして頂ける黒潮園、皆様の笑顔を励みに笑顔を忘れず頑張りますので宜しくお願ひします。

勤続十五年 矢巻敏美



黒潮園に就職して二十年、色々な事がありました。辛かつた事、楽しかった事、利用者様には「有難う」という言葉に励まされる時もありました。今振り返れば無我夢中でやつてきた様に思います。これからも利用者様には毎日の生活を安心して頂ける様な介護と、忙しくても笑顔を忘れずに頑張つて行きました



新人職員紹介



編集後記

広報委員長 廣野等

納涼大会では多くのボランティアの方々がこれまで様々な活動を行ってくれています。また、納涼大会以外でも立施設にこれらは、入所者様、デイサービス利用者様たちと交流を深められ、楽しい時間を過ごされていました。これからもボランティアとの交流の輪を少しづつ大きくして行きたいと考えています。

勤続二十年 小西むつ代

介護部

相談援助部